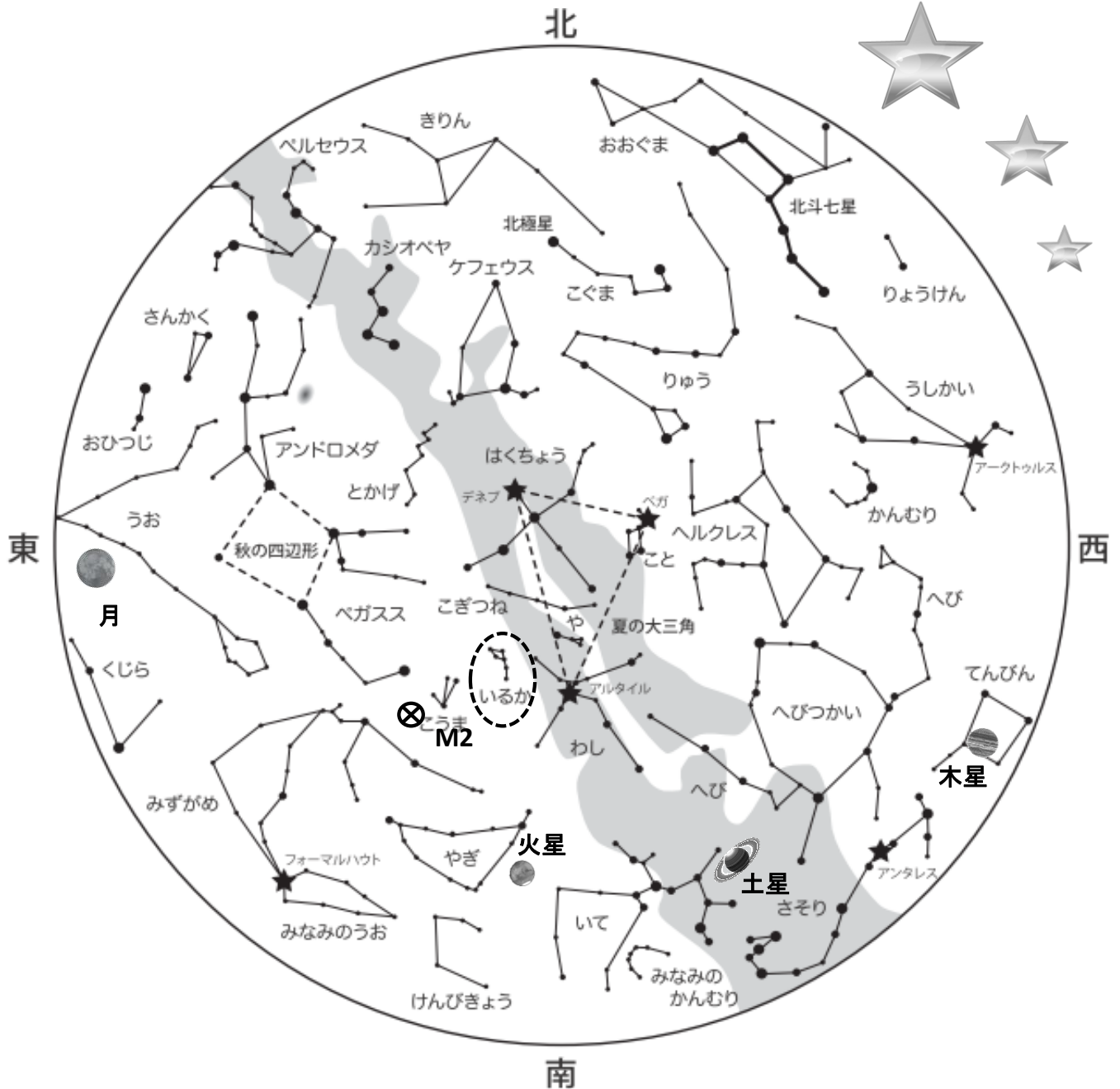


松江市立天文台～9月の天文教室～

平成30年9月26日

9月下旬午後8時頃の星空～



猛暑となった夏から、季節は少しずつ秋へ変わりつつありますね。

日の入りも随分早くなり、その分星も早い時間から見えてきます。

日が沈み暗くなった空を見上げてみましょう。真上には夏の三角形が見えていますが、東には秋の四辺形が姿を見せています。

星座も季節が変わり始めています。

9月下旬午後8時頃の星空です。

木星、土星、火星及び月の位置は9月26日現在のものです。

各天体の見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

今夜の月は月齢16、満月の翌日にあたります。
今年の中秋の名月は、二日前の24日でした。
中秋の名月をめぐる習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われています。
月の重力が主な原因で潮の満ち引きが起きるなど、私たちの生活にも大きく関わっている天体です。



土星

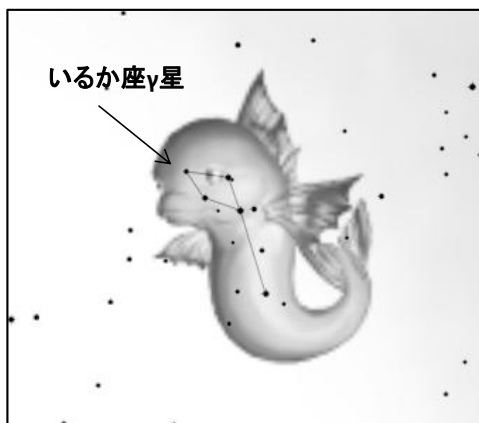
土星は、私たち地球と同じく太陽を中心に回る惑星で、その大きさは、直径約12万キロ(地球の約9.5倍)、美しいリングを持っています。
リングの正体は、数mmから数10cmの水や岩石で、リングの厚さは数百mと言われています。
土星の衛星(えいせい)タイタンも見ることができます。
この夏、火星や木星とともに神秘的な姿を見せてくれた土星も西に低くなり、しばらくすると観望もしばらくお休みです。

衛星タイタン



土星

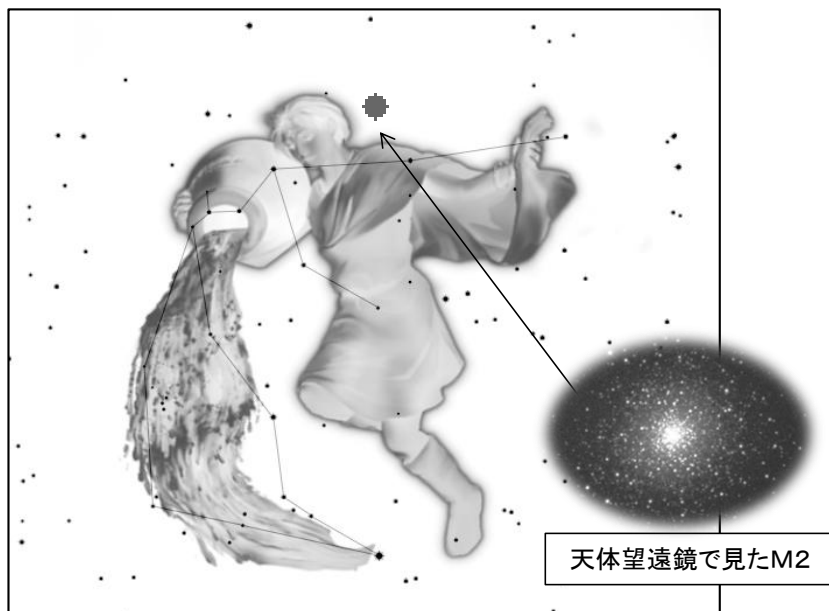
いるか座



いるか座は夏の大三角の近くにありますが、明るい星はありませんが、形が小さくまとまっているので、比較的に見つけやすい星座です。

この星座のγ(ガンマ)星は、天体望遠鏡で見ると二つの星に分かれて見えます。星の色の対比が美しい二重星です。

みずがめ座



天体望遠鏡で見たM2

みずがめ座は、星占いにも登場する有名な星座ですが、目立つ星が無いので、街明かりの中では見つけにくいかもしれません。

M2は、たくさんの星がボールの様に密集している球状星団で、天体望遠鏡では、丸い雲のように見えます。

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 10月24日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会